

平成15年度事業評価書の概要

平成15年8月28日

1 事業評価の概要

平成16年度概算要求において要求を行う研究開発のうち、研究開発終了年度までにおける総事業費が10億円以上と見込まれるものを対象に事前評価を実施。

対 象 事 業 6 事 業
公 表 時 期 概算要求公表時

2 今年度の事業評価の特徴

昨年度の評価作業で課題となった点を中心に以下のような点を改善。

評価結果を概算要求に適切に反映

審議会、調査研究会等において学識経験者等の意見を聴取するなど、外部専門家による評価の積極的活用を徹底

様式の改善等による評価書の分かりやすさの向上

3 評価結果の概要（別紙）

「電子タグの高度利活用技術の研究開発」等ユビキタスネットワーク社会の実現等に向けて必要な5件の研究開発については、研究開発の必要性、有効性等が認められ、高度情報通信ネットワーク社会の形成に必要な政府の取組みとして適切であると評価されることから、概算要求を行うこととする。

「高臨場感・双方向のバーチャルリアリティ・システムの研究開発」については、国が研究開発に取り組みなくてはならない必要性が弱いと評価されることから、平成16年度概算要求は行わないこととする。

(別紙)

事前評価を行った政策(研究開発)の平成16年度概算要求の状況

	16年度要求額
電子タグの高度利活用技術に関する研究開発	7.0億円
ユビキタスネットワーク技術とロボット技術が融合したネットワーク・ロボット技術の研究開発	9.5億円の内数
インターネットのIPv6への移行の推進	20.0億円
高度ネットワーク認証基盤技術に関する研究開発	13.0億円
ナノ技術を活用した超高機能ネットワーク技術の研究開発	3.3億円
高臨場感・双方向のバーチャルリアリティ・システムの研究開発	要求見送り